

拾って、描いて、地球を救え！

私も変わる対話型ごみ拾いプログラム

うみ+ごみe

各会場
定員 20名

先着順です！



締め切りは
11月15日！！

2025 11/22 土 23 日



【1日目】

日程 2025年11月22日（土）
時間 14：00～16：00
会場 岡山市立大元公民館
住所 岡山市北区大元上町10-31
2階 第1講座室

【2日目】

日程 2025年11月23日（日）
時間 10：00～12：00
会場 人と科学の未来館サイピア
住所 岡山市北区伊島町3丁目1番1号
岡山県生涯学習センター
2階 企画展示室

お申し込みフォーム

内容はどちらも同じです。ご都合のいい方にご参加ください。

主催：小中学生環境活動家 Crew

プログラム協力：issue+design（日本財団「CHANGE FOR THE BULE」の助成を受け、協力しています）

特別協力：人と科学の未来館サイピア、NPO法人まんなか

お問い合わせ先：team.maru2050@gmail.com

「回収」と「抑制」を同時に行う うみごme とは？



拾っても、拾っても、なかなか減らない海ごみ。その裏側には「ごみ」自体を生み出してしまっている私たちの社会で何が起きているのか、私たち自身がそこに向き合えていないという現実があります。「うみごme」は、身近に落ちているごみを収集し、そのごみからみえてくる私たちの社会の「小さな身勝手さ＝エゴ」を可視化することで、海ごみを生み出している社会構造に向き合うためのプロジェクトです。

ワークショップの流れ

【うみごme 入門編】



落ちているごみを整理・分類し、ごみを生み出してしまっている私たち1人1人の中にある「気持ち」を特定していったところ、ゴミにつながる『うみごme』があることがわかってきました。対話型ごみ拾いプログラム『うみごme』は、この『うみごme』を活用し、実際に身近なゴミを拾い、参加者同士で学びを深める対話形式で行います。



拾ってきたゴミを捨てたときのひとの気持ちで分類していきます。落ちていた状況を振り返りながら、なぜゴミが生まれているのかを考えます。



ワークの最後には、1人1つずつ、自分自身の中にあるゴミにつながる気持ちを表現し、お別れをする儀式を行います。

主催 | 小中学生環境活動家 Crew

「ごみのない世界」を目指し、岡山市の小中学生が立ち上げた環境保護団体。毎朝6時からしているゴミ拾いは目的ではなく、問題解決のための手段の一つ。活動の核は「他人事」を「自分事」に変える仲間（Crew）を増やし、個性と得意を活かしながら楽しく課題解決すること。団体名のCrewは、「Collective rally enjoy wonderful」の頭文字。「みんなが集まり、楽しみながら素晴らしい変化を起こす」という願いを込めている。一緒に未来の地球を動かす仲間募集中。小中学生以外も大歓迎！

<https://lit.link/Crew>

プログラム協力 | issue+design

「社会の課題に、市民の創造力を。」を合言葉に、2008年から始まったソーシャルデザインプロジェクト。市民・行政・企業が参加し、地域・日本・世界が抱える社会課題に対して、デザインの持つ美と共感の力で挑む。東日本大震災のボランティアを支援する「できますゼッケン」、認知症の方が生きる世界を見える化する「認知症世界の歩き方」他、行政や企業とともに多様なアプローチで地域が抱える課題解決に挑むデザインプロジェクトを多数実践中。

<https://issueplusdesign.jp/>